患者ID		入院診療計画	主治医	F
患者氏名	様	スタルの 然 日 自		
病 名		ペス名 子宮腫瘍・卵巣腫瘍の)開腹手術 担当看護師	

経 過 (手術日・退院日など)	1日目 入院日	2日目 手術当日		3日目 手術後1日目				
日時	/	/ (手術前)	/ (手術後)	/				
治療 薬剤(点滴·内服)	いつも飲んでいる薬を看護師に お知らせください 眠る前に眠剤・下剤を飲みます	午前8時頃に浣腸をします (必要時、点滴を行います)	点滴・酸素吸入を行います お腹に管が入る場合があります 痛み止めを持続的に入れるチューブ	点滴を行います クレキサン注射がある方は午後9時頃 お腹に注射をします				
処 置	必要時、お臍の処置があります	回診があります	が背中に入っています 痛みが強い場合は痛み止めを 使います	医師の許可が出たら痛み止めを 飲みます 回診があります				
検 査			看護師が頻回に伺い、手術後の 検温・創の状態などを観察します	体温・脈拍・血圧測定を行います 採血があります				
食事	制限はありません (制限食でない方のみ) 経口補水療法の方は麻酔科医が 指示した時間までにOS-1を 飲みます 午後9時以降は水分・食事は 摂取できません	水分・食事はとれません 経口補水療法の方は朝食代わりに アルジネードウォーターを飲みます	麻酔が覚めたら寝たままうがいが できます	手術後1日目に医師の許可があれば 水分が摂取できます ガスが出たら食事ができます 流動食から1日ずつ五分粥・全粥・ 常食に変わります 状態により治療食になります				
清潔	シャワー浴はご自宅ですませてから ご入院ください マニキュア(ジェルネイルなど)は 落としてきてください	手術衣に着替え弾性ストッキングを 履きます 髪の長い方はゴムでまとめてください	洗面のお手伝いをします	看護師が体を拭くお手伝いをします 歩行後に弾性ストッキングを 脱ぎます				
排 泄	制限はありません		尿の管が入っています	看護師が付き添って歩行します				
安静度 リハビリ	かにという		たまま過ごします 時々変えてください いときは看護師がお手伝いさせていた	歩行できたら尿の管を抜きます 手術後3日目の午前10時まで 尿量測定をします 病棟内でお過ごしください				
教育·指導 (栄養·服薬管理)	担当看護師が、手術に必要な物を確認し、手術に関する説明をします			お薬について説明します				
患者さんおよび 家族への説明	手術・治療・麻酔に関して医師から 説明があります	ご家族の方は手術1時間前に お越しください	ご家族の方へ医師から説明が ありますので談話室でお待ちください					

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです 注2 入院期間については、現時点で予想されるものです

患者ID	
患者氏名	様
病名	

入院診療計画書

病名名 子宮腫瘍・卵巣腫瘍の開腹手術 パス名 子宮腫瘍・卵巣腫瘍の開腹手術							
経 過 (手術日・退院日など)	4日目 手術後2日目	5日目 手術後3日目	6日目 手術後4日目	7日目 手術後5日目	8日目 手術後6日目	9日目 手術後7日目	10日目 手術後8日目以降
日 時	/	/		/	/	/	/
治療 薬剤(点滴·内服)	点滴を行います クレキサン注射がある方は手術後7日目まで1日2回(午前9時・午後9時頃)お腹に注射をします					退院診察 (午前9時頃から) 次回の外来受診	退院
処 置	回診時に医師が創	る方は手術後3日目に抜きます の状態・腸の動きなどを診察します			抜鉤があります	日を予約します 朝より抗生剤を飲 みます	
検 査	体温·脈拍·血圧測	定を行います	採血・検尿があります			採血があります	
食 事			常食になったら制限はありません(制限食でない方のみ)				
清潔	蒸しタオルで体を抗 必要な場合はお手		シャワー浴ができま (お腹に管がない場		午前9時頃までに シャワー浴をして ください	退院診察後に シャワー浴ができま	ह्रं
排泄	手術後3日目の午前10時まで尿量測定をします				•	•	
安静度リハビリ	病棟内でお過ごしください		病院内でお過ごしください ○病棟を離れる場合は看護師にお知らせください				
教育·指導 (栄養·服薬管理)					抜鉤後の注意点 を説明があります	退院後の生活の注パンフレットをお渡り	
患者さんおよび 家族への説明						退院日は医師の指決定します 退院は午前10時3 お願いします	

記載日 (本人·家族) 年 月 日